



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地 TEL097-546-7111(代表)

※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ホームページまたは、1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

**内分泌・
代謝内科**

血糖値を連続して測定する

～FGMシステム(フリースタイルリブレとリブレプロ)について～

FGM(フラッシュグルコースモニタリング)システムは、指先を穿刺することなく連続して血糖値を計測できる機器で、「フリースタイルリブレ」と「リブレプロ」とがあります。

「**フリースタイルリブレ**」の特徴は、上腕に装着したセンサーにリーダーをかざすだけ(非接触)でグルコース(血糖)を2週間連続で測定できることです。

当院では1型糖尿病の患者さんに限って保険適応としております。指先を穿刺することなく血糖を常時かつ何度でも測定することが可能です。従来の指を穿刺する血糖測定に比べて低血糖発現時間が明らかに短縮して、患者さんの治療満足度が高く、高血糖や低血糖に対する理解も向上しています。

現在当科では約40名の1型患者さんが施行されて、継続されています。

「**フリースタイルリブレプロ**」は1型患者さんに限らず、2型糖尿病患者さんでインスリン療法を行っても血糖のコントロールが不良で、どこの血糖が高いかわからない人や、自覚症状のない低血糖が起きていないか調べることができます。

病院で装着してから2週間後に、ふりかえって14日間の連続した血糖日内変動を確認できます。今まで私たちが実臨床において全くみることができなかった『食後血糖値の連続的な変化』や『夜間・深夜帯の血糖の動き』を見ることができます。

患者さん自身の操作は不要で、装着中もお風呂を含む日常生活を送ることができます。

自己測定をしている方で、「低血糖が頻回に起こる」、「自分は頑張っているのに血糖が下がらずA1cがいつも8%以上ある」、「外来の血糖はいつもいいのにA1cが高い」といった方は一度つけてみる価値はあります。

当科外来でご相談ください(検査料金 約5,000円)。

(内分泌・代謝内科 部長 瀬口 正志)



フリースタイルリブレ

県病専門看護師シリーズ

その4

手術看護県病専門看護師

手術の前の
「お口のケア」

お口の中には多くの細菌が生息しています。普段は悪さをしない細菌も、手術や抗がん剤治療、あるいは放射線治療で一時的に全身の抵抗力が弱まった時、肺炎や重症の口内炎などの合併症の原因となります。

体の治療を始める前に、あらかじめ**お口のケア**を行い、**細菌数を減らす事で合併症のリスクを減らすことができます。**

がん患者さんを対象に手術前に「お口のケア」を行った方と行わなかった方とを比較した結果、行った方は術後合併症が1/4に減少したと報告があります。



歯科で「口腔環境」を整えましょう

手術・入院前から「口腔ケア」に加えて、虫歯がないか？歯周病はないか？グラグラしている歯はないか？など確認し、必要な歯科治療を行うことで、手術後の合併症を予防していく事が重要です。

注意

抜歯などの治療は全身状態に影響を与える事があるため、主治医と相談して歯科治療を行いましょう。

術前の歯磨きも効果的

手術前に歯磨きでお口の中の細菌を減らす事は効果的です。

● **歯垢はバイオフィーム**

うがいだけでは除去できないほど強固に付着しています。歯垢の菌の濃度は糞便に匹敵します。(1千億個/g)

● **バイオフィームである歯垢は肺炎の原因にもなる**

歯ブラシや歯間ブラシなどでこすり落としましょう。デンタルリンスは、手洗いの時の石けんのように、ブラッシングによる歯垢の除去を高める効果があります。

● **保湿しよう**

お口の中が乾燥すると汚染物が歯や粘膜に固着しやすく、細菌の増加につながります。適宜「ブクブク」うがいをしたり、マスクをしたりして、口腔内のうるおいを保ちましょう。乾燥傾向にある方は、口腔内用の保湿ジェルなどもあります。

(手術看護県病専門看護師 黒木 都)

